

N－バス再編について（報告）

1 趣旨（長久手市地域公共交通計画より抜粋）

本市は市の東西で交通網の状況や人口特性が異なっています。地域別の課題として、市西部においては、名鉄バスとの路線重複、市東部では交通手段の選択肢の少なさなどもあります。小学校区別で見ても、人口集積や徒歩移動困難者の割合など、校区ごとに特徴があります。

N－バスの満足度については向上しているものの、N－バスを利用しない理由として、運行本数の少なさや運行時間の不足との意見があります。また、リニモ及びN－バスの他路線への乗り継ぎが不便との意見があります。

これらを踏まえ、効率的な運行の実現、自家用車から公共交通への転換を促進するためにも、地域特性や移動ニーズに対応したネットワークの確保及び見直しの検討を進め、実施するものです。

2 実施時期

令和9年4月からの実施に向け準備を進めます。

3 令和7年度の主な取組

(1) 利用状況の整理

統計的な指標の整理、利用実態の整理を行います。

(2) 各種ニーズ調査

市民アンケート調査、利用者アンケート調査、事業者ヒアリングを行います。

(3) 路線再編素案の検討

現行路線の評価・検証、課題整理を行い、路線再編素案を検討します。

4 市民アンケート調査及び利用者アンケート調査の概要

(1) 目的

長久手市地域公共交通計画にある基本方針「地域共創による地域交通ネットワークの確保・維持・改善」に関し、計画事業「地域特性に合った補助交通の確保」にかかるN－バスの再編（路線見直し）に向けた、市民及び利用者のニーズを把握します。

(2) 市民アンケート調査

ア 対象

市在住の15歳以上の市民3,000人（無作為抽出）

イ 調査項目とねらいの概要

① 普段の外出について

日常的な生活交通圏域、交通行動の実態、地区別の交通特性を把握します。

《裏面につづきます。》

② N－バスの利用状況について

N－バスの利用状況や（非利用者には）利用場面・条件などを把握します。

③ 公共交通の運賃、N－バス運行の中心（起終点）の場所などについて
N－バスの再編に繋がる具体的な市民意向を把握します。

(3) 利用者アンケート調査

ア 対象

平日・休日各1日におけるN－バス全路線の全利用者

イ 調査項目とねらいの概要

① 調査票を受け取ったN－バスの利用について

利用者ODに紐づく「移動の質」を把握します。

② N－バスの評価（満足度）について

現状のN－バスに対する評価を把握し、具体的な改善要素を整理します。

③ N－バスの運賃、路線網のあり方や運行ルートの考え方について

N－バスの再編に繋がる具体的な利用者意向を把握します。

5 再編の方向性

(1) 「地域特性にあった補助交通」（長久手市地域公共交通計画の基本方針）

- ・ N－バスは、運行開始から「市内交通空白地帯の解消」や「交通弱者の社会参加の促進」などを運行目的としてきましたが、限りある財源のなかで、補助交通として適切な役割分担をしながら、維持していくことが重要と考えています。
- ・ このことから、令和9年度の路線再編では、N－バスを地域特性に合った補助交通と位置付け、市西部地域では、利用促進のための路線の充実を図り、市東部地域では、N－バスに代わる新たな移動手段としてデマンド型交通導入の検討を行うとしています。

(2) 運賃の見直し

物価高等による運行経費の増加傾向からN－バス運行の持続性を確保するため、また、受益者負担の考え方から、適正な費用負担を利用者に求めるため、運賃改正を行うことを検討したいと考えています。